

「手打小学校の手踊り伝承活動の取組」

1 学校名

薩摩川内市立手打小学校

2 学年・人数

手打小学校1～4年生（11名）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

【手打小学校1～4年生】

令和5年9月6日（火）、13日（火）、16日（金） 手打小学校運動場

(2) 発表の日時・場所

【手打小学校1～4年生】

令和4年9月24日（土） 手打小学校・校区合同秋季大運動会

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

手踊り（ておどり）

(2) 由来

子岳地区の手踊りの由来ははっきりしないが、江戸時代から踊っていたと思われる。（下甕村郷土誌より）

(3) 構成等

構成員数は、踊り4人、太鼓1人、拍子木1人で構成される。ハンテンまたはハッピ、鉢巻、タスキ、博多帯、手甲足絆、足袋ワラジ、刀、扇子を身に着ける。口紅とおしろいで化粧する。

踊りの構成は、①出羽「太鼓と拍子木で踊る。」②中踊「刀を使って踊る。」③入羽「一人残って太鼓と拍子木でハ、ハ、ハ、ソラオイオイで終わる。」の順である。

5 保存会や地域との連携の具体策

手打小学校1～4年生には、伝承者が講師として来校し、毎年1～2時間程度指導していただいている。その後は、体育や、ふるさと・コミュニケーション科の授業で練習を行っている。

6 文化財伝承・活用の取組で工夫した点

学校が伝承活動に協力できるようにするために、また連携しながら伝承していけるようにするために、毎年地区との合同運動会で披露するようにしている。さらに、伝承者による指導時間が限られているので、4年生の児童がリーダーとなって、他の1～3年生の見本となって教えるようにした。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



手打小学校・校区合同秋季大運動会での発表

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想や意見

【2年生】

上手におどれるようになりました。

【3年生】

腰を低くして踊ることがむずかしかったです。何度も練習するうちに上手に踊ることができるようになりました。

【教職員】

子供たちが練習するたびに，上手になり本番でもかっこよく踊ることができていた。古くから伝わる伝統芸能のため，この踊りを絶やすことなく紡いでいきたい。

【保護者から】

親から子へ，子から孫へ代々伝わっていく伝統芸能。今後も学校で踊る機会を絶やさずつなげていってほしいと思います。